

研究対象候補者へのオプトアウト文書(ホームページ掲載)

これまでに「福島第一・第二原子力発電所職員のメンタルヘルス対策に関する研究」にご参加いただいた方へ

【過去の提供情報の追跡研究への使用のお願い】

目白大学保健医療学部、東京電力ホールディングス株式会社、順天堂大学、防衛医科大学校では「福島第一原子力発電所員における発電所事故後の心的回復とその関連要因：縦断的研究」という研究を行います。この研究は、事故時に福島第一原発に務めていた所員を対象として現在の心的症状を調査し、先行研究「福島第一・第二原子力発電所職員のメンタルヘルス対策に関する研究」（研究責任者 目白大学保健医療学部 重村 淳）より得られたデータと連結して、原発事故から14年が経つ中、職員たちの心的回復を調べることを主な目的としています。そのため、先行研究にご参加いただいた方々からいただいたアンケートの回答と就業状況に関するデータを使用させていただきます。

- この研究の対象となる方は、福島第一・第二原子力発電所に就業していた職員約1,800名で、2011年から2014年の間に調査にご協力いただいた方です。
 - 利用させていただく情報は下記です。
アンケートの回答、就業状況に関するデータ
- この研究は目白大学医学系倫理審査委員会の承認を受けて行われます。
 - 研究実施期間 倫理委員会承認日 ～ 西暦2028年3月31日まで
 - 研究責任者 重村 淳
- 過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはありません。使用させていただいた患者さんへの謝礼等はありません。
- 参加いただいた方の情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、参加いただいた方を特定できる個人情報を含みません。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。
- この研究は、東京電力ホールディングス株式会社一学校法人目白学園の共同研究費によって実施します。本研究の責任者および共同研究者のうち、重村淳は2025年に共同研究費、2024年に東京電力ホールディングス株式会社経営技術戦略研究所からの技術支援謝金提供を受けています。鹿毛佳子と池野太郎は東京電力ホールディングス経営技術戦略研究所の社員です。順天堂大学 谷川武は東京電力ホールディングス本社の顧問産業医です。それ以外の共同研究者には開示すべき利益相反はありません。

文部科学省・厚生労働省・経済産業省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第12の1
(2) イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の追加解析では参加者から同意取得はせず、その代りに対象となる参加者へ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる参加者で、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが2028年3月31日までに下記のお問い合わせ先までご連絡ください。同意の有無が社内外での不利益となることは一切ございません。なお、お申し出によりそれ以降の分

析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済みの研究結果からの削除はできない場合がありますので、ご承知下さいますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

研究責任者

重村 淳（目白大学保健医療学部作業療法学科 教授）

〒339-8501 埼玉県さいたま市岩槻区浮谷 320

電話：048-797-2131

メールアドレス：j.shigemura アット mejiro.ac.jp （「アット」を@に置き換えてください）